

令和4年度 第3四半期

退職等年金給付組合積立金 運用状況



目次

- ・ 令和4年度 第3四半期運用実績（概要） P 2
- ・ 令和4年度 第3四半期市場環境（その1） P 3
- ・ 令和4年度 第3四半期市場環境（その2） P 4
- ・ 令和4年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合 P 5
- ・ 令和4年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 6
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り P 7
- ・ 令和4年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 8
- ・ （参考）前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額 P 9
- ・ 令和4年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額 P 10
- ・ 資産運用に関する専門用語の解説 P 11

令和4年度 第3四半期運用実績（概要）

運用収益額 + 0.80 億円 ※実現収益額
(第3四半期)

運用利回り + 0.09% ※実現収益率
(第3四半期)

運用資産残高 885 億円
(第3四半期末) (簿価ベース)

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和4年度 第3四半期市場環境(その1)

【各市場の動き(令和4年10月～令和4年12月)】

- 国内債券：10年国債利回りは上昇しました。日本銀行が従前からの金融市場調節方針を堅持したことから、しばらくは同行が上限とする0.25%近辺で推移しましたが、12月20日の日銀金融政策決定会合で、10年国債利回りの変動許容幅を±0.5%に拡大したことから、新たな上限である0.5%近辺まで上昇しました。
- 国内株式：国内株式は上昇しました。円安が進行する中、新型コロナ水際対策の緩和や政府による追加経済対策の発表等により、期初から上昇基調となりましたが、日本銀行が金融政策を修正すると、金利が急上昇し、急激に円高が進んだことから反落しました。
- 外国債券：米国10年国債利回りは上昇しました。消費者物価指数(CPI)の上昇ペース鈍化や米連邦準備制度理事会(FRB)の利上げ縮小観測から低下する場面もありましたが、期末には再び金融引き締め長期化観測から上昇しました。
ドイツ10年国債利回りは上昇しました。ユーロ圏の景気後退懸念や、CPIの上昇率鈍化観測から低下する場面もありましたが、期末に、欧州中央銀行(ECB)が積極的利上げ継続姿勢を強調したことで上昇しました。
- 外国株式：米国株式は上昇しました。比較的良好な企業業績やCPIの伸び鈍化が好感されて上値を試す動きが先行しましたが、金融引き締め長期化による景気後退懸念により上値は抑制されました。
欧州株式は上昇しました。ユーロ圏のインフレの伸び鈍化に伴うECBの利上げペース減速観測から上昇しましたが、ECBが積極的利上げ継続姿勢を強調したことで若干水準調整しました。
- 外国為替：ドル/円は、日本銀行の円買い介入後も円安ドル高が進展しましたが、FRBの利上げ幅縮小観測に加えて、日本銀行が金融政策を修正したことから、円高ドル安に転じました。
ユーロ/円は、ECBの大幅利上げ等を受けて、円安ユーロ高で推移しましたが、ECBの利上げペースの減速観測や日本銀行の政策修正を受けて、円高ユーロ安に転じました。

○ ベンチマーク収益率

	令和4年9月末～ 令和4年12月末
<国内債券> NOMURA-BPI総合	▲1.88%
<国内株式> TOPIX(配当込み)	3.26%
<外国債券> FTSE世界国債インデックス (除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)	▲5.81%
<外国株式> MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	▲0.01%

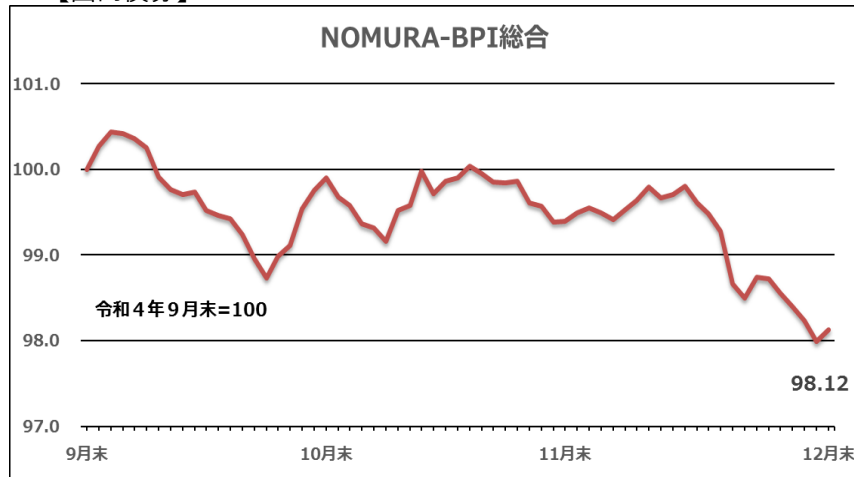
○ 参考指標

		令和4年9月末	令和4年10月末	令和4年11月末	令和4年12月末
国内債券	新発10年国債利回り (%)	0.244	0.248	0.253	0.422
国内株式	TOPIX (ポイント)	1,835.94	1,929.43	1,985.57	1,891.71
	日経平均株価 (円)	25,937.21	27,587.46	27,968.99	26,094.50
外国債券	米国10年国債利回り (%)	3.829	4.048	3.605	3.875
	ドイツ10年国債利回り (%)	2.108	2.142	1.930	2.571
外国株式	NYダウ (ドル)	28,725.51	32,732.95	34,589.77	33,147.25
	ドイツDAX (ポイント)	12,114.36	13,253.74	14,397.04	13,923.59
外国為替	ドル/円 (円)	144.74	148.71	138.07	131.12
	ユーロ/円 (円)	141.88	146.97	143.68	140.41

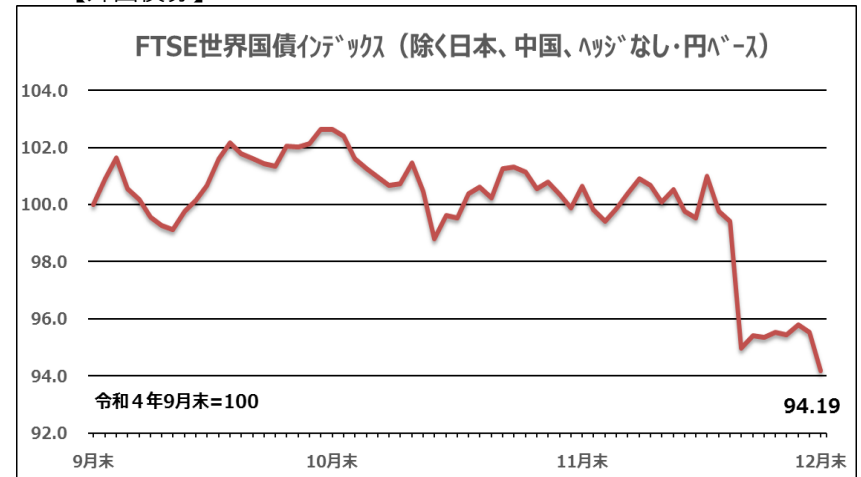
令和4年度 第3四半期市場環境(その2)

ベンチマークインデックスの推移 (令和4年度第3四半期) ※令和4年9月末時点の指数を「100」としてグラフ化しています

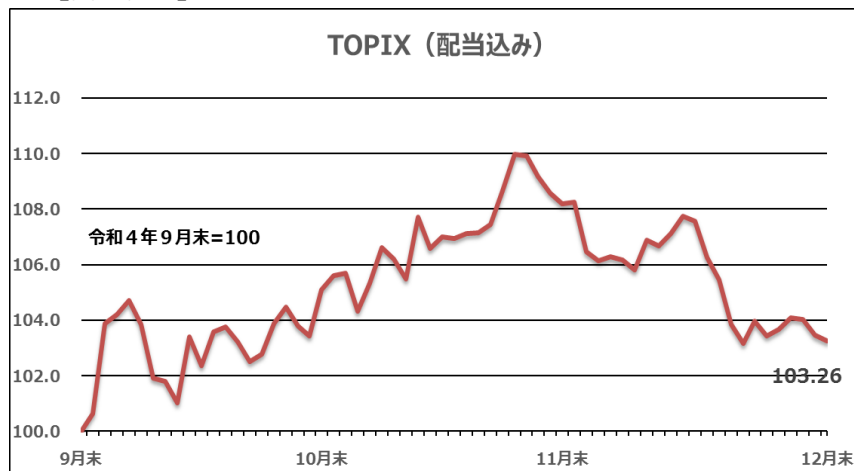
【国内債券】



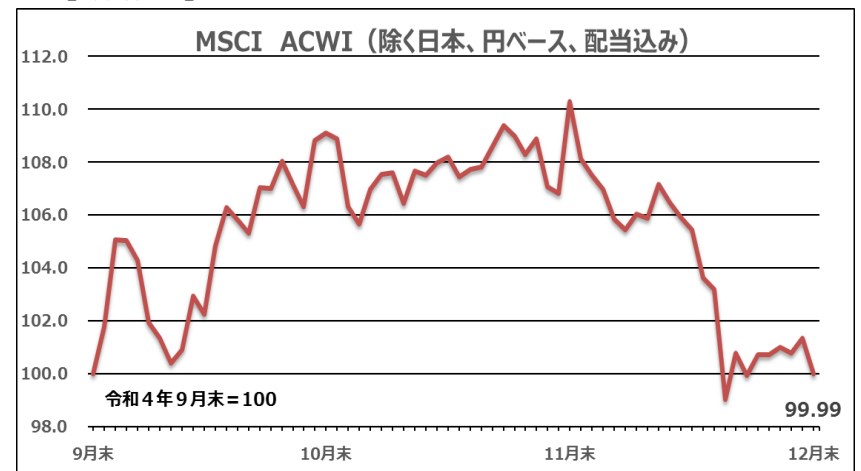
【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】

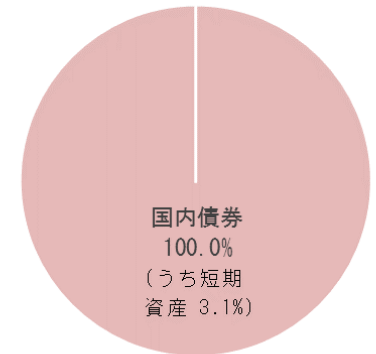


令和4年度 退職等年金給付組合積立金の資産構成割合

(単位：%)

	令和3年度	令和4年度				基本 ポートフォリオ
	年度末	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0
うち短期資産	(1.7)	(2.6)	(1.4)	(3.1)	—	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	—	100.0

第3四半期末 運用資産別の構成割合



- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券100%です。
(注2) 資産構成割合は簿価ベースの数値です。
(注3) 記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。
(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

令和4年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

- 令和4年度第3四半期の実現収益率は、0.09%となりました。
 ○退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.09	0.09	0.09	—	0.27
国内債券	0.09	0.09	0.09	—	0.27
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)		(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲1.44	▲0.92	▲2.90	—	▲5.23

(注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。

(注2) 収益率は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用利回り

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	0.09	0.09	0.09	0.09	0.34
国内債券	0.09	0.09	0.09	0.09	0.34
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	0.68	0.11	▲0.10	▲1.69	▲1.17

令和4年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

- 令和4年度第3四半期の実現収益額は、0.80億円となりました。
 ○退職等年金給付組合積立金で保有する国内債券は、満期持切りを前提とするため、簿価評価としています。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	0.69	0.74	0.80	—	2.23
国内債券	0.69	0.74	0.80	—	2.23
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲11.34	▲7.44	▲24.20	—	▲42.99

- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に仮に時価評価を行った場合の評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 退職等年金給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	0.58	0.61	0.63	0.66	2.48
国内債券	0.58	0.61	0.63	0.66	2.48
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)

(参考)

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	4.63	0.78	▲0.72	▲13.22	▲8.53

令和4年度 退職等年金給付組合積立金の資産の額

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	815	795	▲20	847	819	▲28	885	832	▲53	—	—	—
うち短期資産	(21)	(21)	(0)	(12)	(12)	(0)	(28)	(28)	(0)	—	—	—
合計	815	795	▲20	847	819	▲28	885	832	▲53	—	—	—

(単位：億円)

	令和3年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	693	701	7	726	733	7	764	770	6	786	777	▲8
うち短期資産	(19)	(19)	(0)	(13)	(13)	(0)	(25)	(25)	(0)	(13)	(13)	(0)
合計	693	701	7	726	733	7	764	770	6	786	777	▲8

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 時価及び評価損益は、仮に時価評価を行った場合の参考値です。

(注3) 上記数値(令和4年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

資産運用に関する専門用語の解説

- 実現収益額
(計算式)
実現収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)
- 実現収益率
(計算式)
実現収益率 = 実現収益額 ÷ 簿価平均残高
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式)
総合収益額 = 実現収益額 + 評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。総合収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
修正総合収益率 = 総合収益額 / (簿価平均残高 + 前期末未収収益 + 前期末評価損益)
- 格付
債権の信用力や元利金の支払能力の安全性などを総合的に分析してランク付けし、アルファベットなど分かりやすい記号で示されたものです。格付機関が付与します。
一般に B B B 格までが投資適格とされ、B B 格以下になると信用リスクが高くなるとされています。